

春にもらった言葉は
ずっと、あたたかい。



治一郎 「言葉を贈る春」キャンペーン



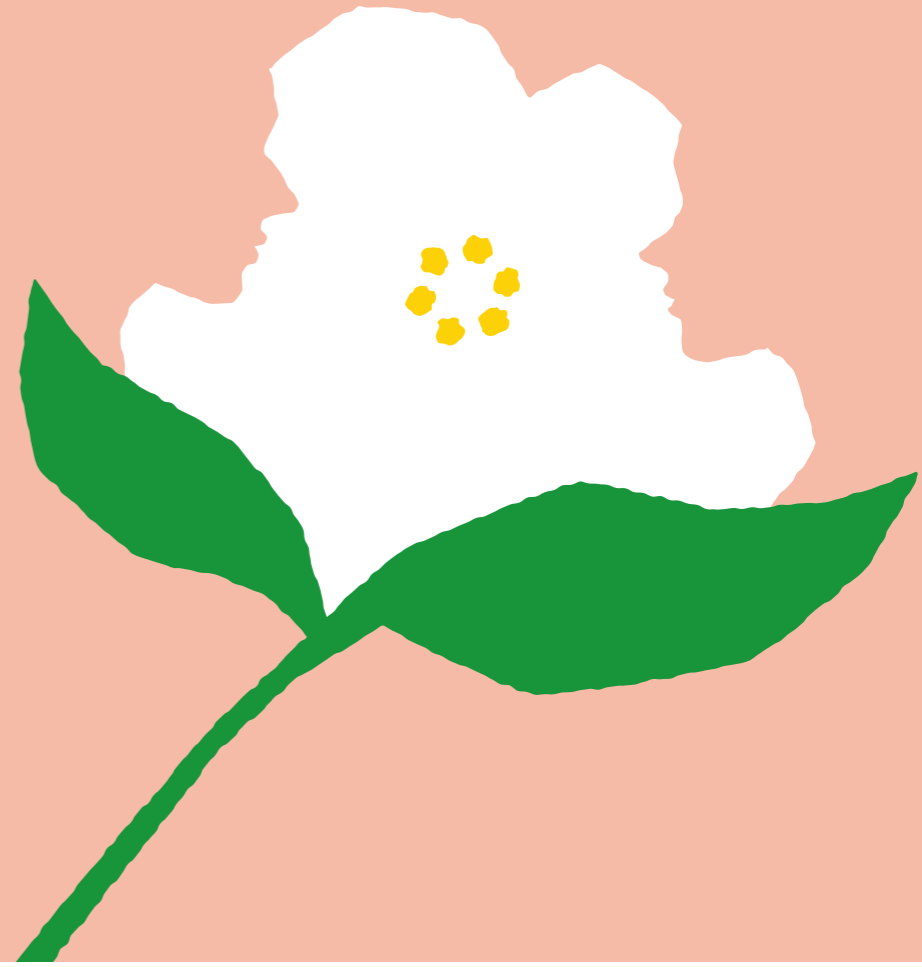
出会いも別れもあり、人の想いが交差することの多い春に合わせて、バウムクーヘンブランド「治一郎」は2024年3月1日から期間限定で、言葉を贈るキャンペーンを実施。期間中、限定数量にて「言葉を贈る手提げ」を提供した。手提げには、左右の花びらの形が向かい合う人の横顔になった白い花が描かれており、その中央の部分に「感謝の気持ちです」「元気でいてね」「よい春を」などのメッセージシールを貼って、伝えたい想いを贈ることができる。大きいサイズの手提げは17万枚、小さい方は約8万枚を用意し、「治一郎」の全国28店舗で提供。旗艦商品の「治一郎のバウムクーヘン」も、春限定包装で販売された。



春にもらった言葉は
ずっと、あたたかい。

ありがとう。大好き。がんばって。これからもよろしく。
春ほど、人が人を想う季節はないかもしれません。
いつもの感謝も、別れの寂しさも、出会いの喜びも。
その想いを言葉にして添えるだけで、
贈り物をもっとうれしく、おいしく、
ずっと心に残るものになるはず。
この春、あなたにどんな想いを贈りますか。
ひとりで、ひと味ちがう贈り物。

治一郎



店頭装飾も春らしい装いに。「春にもらった言葉は、ずっと、あたたかい。」というコピーで、言葉を贈る春のよろこびを伝えた。
さらに店員向けには、手提げと同じ花のデザインのバッジも制作。同様に、中央に好きなシールを選んで貼れるようになっている。
各店でデザインをきっかけに、来店されたお客様との会話も生まれ、多くのお客様からご好評をいただいた。